

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

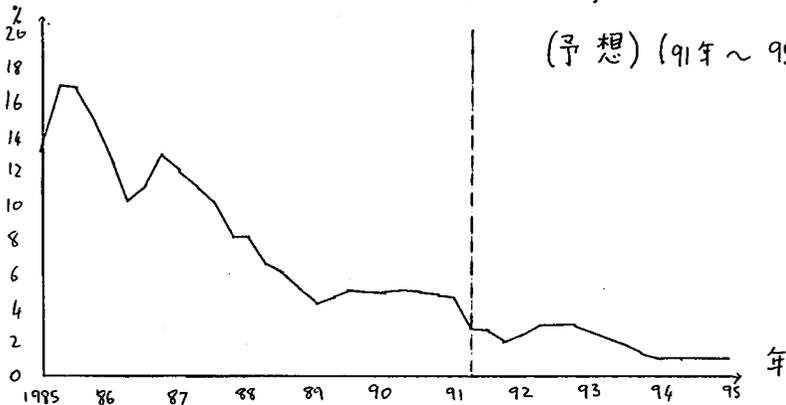
Title	ニュージーランドと日本の経済交流
Author(s)	デービッド パーテルセン,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集 , 1991 : 157 - 163
Issue Date	1992-03-01
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039316
Right	
Relation	



ニュージーランドにおける経済の現状

経済は、ニュージーランドと日本との貿易の増大を背景として、高金利政策を
海外投資の増加、インフレ率の低下、失業率の減少、通貨の安定化、金融市場の開放、
1984年以降、その政策の目的は、インフレ率の低下と失業率の減少にある。ニュージー
ランドは、長期金利を、1970年代と1980年代に比べて、1991年7月17日現在、
2.8パーセントである。OECD（経済協力開発機構）の予想によると、1991年のインフレ率は
2.0パーセントの低いレベルに落ちる。OECDの24強国の間でも、最も低いと期待されて
いる。しかし、この政策は副作用もあった。

ニュージーランドのインフレ率 (表A) (N.Z. Herald 1991年)

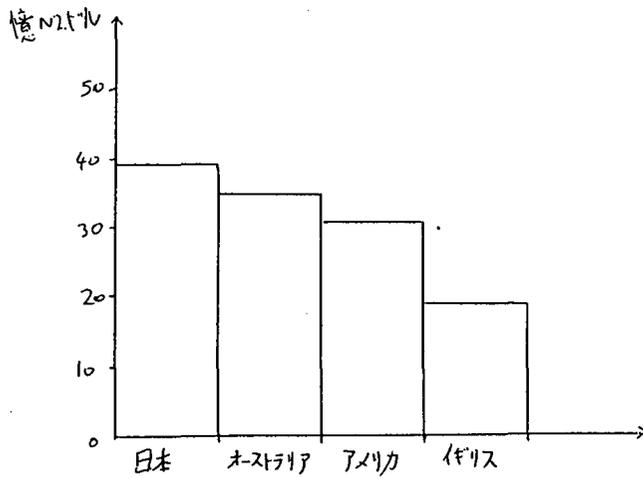


1991年には、ニュージーランドの国民総生産は1986年のレベル
と比べて1.5パーセントしか上がらず、1992年にも1パーセ
ントしか上がらないような見通しである。失業率は労働人口の10パ
ーセントに上る。今年、政府は、インフレはもう回復されたと判断して、金融を少し
緩和する。1991年上半期には、日本の日本銀行の公定歩
合に相当する利率は16.25パーセントから14.0パーセントに下
り、また商業の借入れ金利は、同期間15.5パーセントか
ら12.0パーセントに下がり、見通しである。5年前から、生産性の向上もあ
り、長年続いた高金利政策も、1990年代はこれから安定成
長を遂げる予想されている。為替相場もかなり安定して、信頼できる
こととなる。

(4)

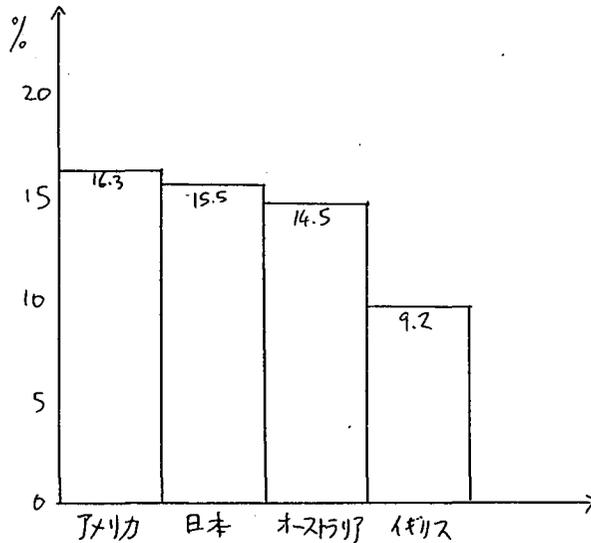
ども、それはまが国際的にみて高い。

ニュージーランドの諸国の貿易総額輸出入の合計額 (表B)



(N.Z. Herald 1991年)

ニュージーランドの主な輸出市場 (表C)



(N.Z. Herald 1991年)

日本における経済の現状

日本は戦争に負けてから経済成長率が高く、一人当たりの国民総生産は世界一となった。インフレも失業率も低く、貯蓄率も投資も高いレベルになっているので将来の見通しも明るいだろう。

海外投資

日本に投資したい外国企業はたくさんいるが、その障害は法律上のことのみでなく、言葉、文化などの違いに基づくことも多い。

日本での海外投資の50.0パーセントぐらいはアメリカからである。ニュージーランドの存在はわずかであり、ほとんどの乳製品の流通分野にある。

貿易

日本もGATTに加盟している。けれども、世界の様々な国と日本の保護貿易が批判されている。実際には、日本の輸入製品に対する関税はわずかに3.0パーセントである。農業以外の輸入割当数量もほとんどなく、それをのぞいて、日本はまた批判されている。日本の政府は米輸入を「一つも」ゆるさず、その点は農業の保護貿易の焦点となっている。GATTのウルグエアイラウンドにおいて日本は米市場の一部開放をゆるす可能性が出てきたのであるがこれは農民団体に熱心に抗議されて、結局、実現するかどうかというはまわかっていない。

ニュージーランドに対して、牛肉の高い関税[1991年現在100%]は問題となっている。

ニュージーランドと日本の間の貿易現状

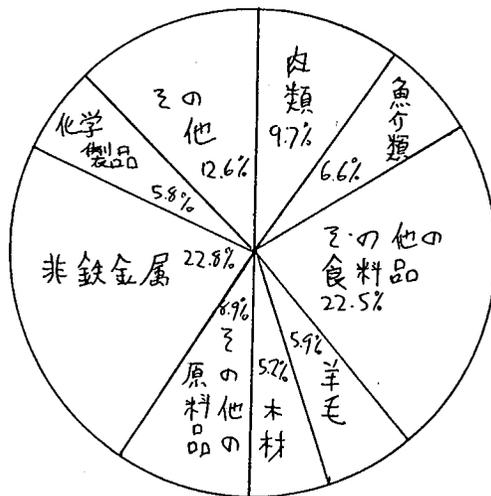
成長率が高く、もっと輸入するようがある日本のような国は魅力のある輸出先である。日本は北アメリカとヨーロッパほどニュージーランドから離れていないので運賃も割合に安い。そして日本が友人が人市場を開放するにつれてニュージーランドの輸出する機会も同時に増えている。

日本の会社にとり、ニュージーランドは本当に小さな市場だが、可能性はさまざまである。ニュージーランドは大規模経営製造を支持するに人口が少なく、製造品の多くを輸入する。ニュージーランド人の日本製品への反応もよくて技術的に品質的にもニュージーランドの消費者に高く評価されている。ニュージーランドの日本への主な輸出品を下の表に示す。

ニュージーランド



日本

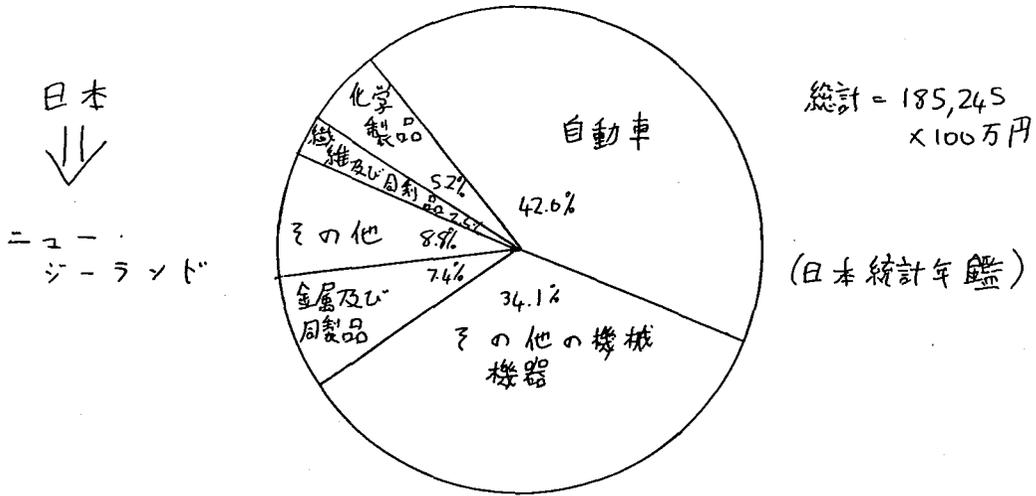


総計 = 227,285 x 100 万円

(日本統計年鑑)

(6)

日本のニュージーランドへの主な輸出品を下の表に示す。



要約

ニュージーランドと日本の経済交流は今でも好景気のパターンを示しているが、アジア太平洋地域において、これからの交流はお互いに有利であつて、さらによくなることを期待している。

参考文献

朝日新聞社編
1991年
朝日年鑑1991
朝日新聞社

The Economist Research Unit,
1990,
"The Economist Guide To Business in Japan
Economist Newspaper, London.

Kodansha,
1983,
"Kodansha Encyclopedia of Japan,"
Kodansha, 日本.

総務庁統計局編,
1991年
日本統計年鑑 第四十回 平成2年
総務庁統計局、日本

New Zealand Herald,
1991年7月17日
Wilson and Horton, Auckland, New Zealand.